



すてい~る

目次

●特集 第1回定時総会

● 記念寄稿 『すてい~る』50号の発刊に寄せて	1
● 一般社団法人移行に伴う「第1回定時総会」を開催	2
● 支部だより	6
● 青年部会「第1回定時総会」を開催	8
● 「はがねの日」記念行事	9
● 平成24年度「特殊鋼販売技士1級」資格認定式	11
● いま世界へ! 各社が取り組む海外展開事例—佐久間特殊鋼(株)—	13
● 委員会・理事会報告	14
● 事務局だより・編集後記	裏表紙

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会 第一回定時総会



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

『すてい〜る』50号の発刊に寄せて



一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会
会長 竹内誠二

広報誌の『すてい〜る』が本号で記念すべき50号の節目を迎えました。これも偏に会員の皆様のご支援、ご協力あってのことと心より御礼申し上げる次第です。

『すてい〜る』の前身は全特協ニュース(冠の付かない全日本特殊鋼流通協会、平成6年4月発足)、全特連だより(全日本特殊鋼販売組合連合会)にまでさかのぼることが出来ますが、この辺の歴史の変遷については他の機会に譲ることとして、平成8年12月2日に公益法人設立許可が下り、翌平成9年1月20日に設立披露宴を帝国ホテルで賑々しく執り行われました。その時の模様を特集記事として紙面を飾ったのが同年3月25日発刊の創刊号であります。当時、私は広報委員長を担当しておりまして『すてい〜る』の創刊に携わった者の一人として、今回の50号到達のニュースはより一層感慨深いものがあります。この創刊号の紙上で井上会長は「衆望の大きい流通業界初の公益法人、企画力を駆使して課題の事業推進を図ろう」と呼びかけています。

この年は、消費税が3%から5%に上がり、銀行の貸し渋りが表面化して大きな社会問題となりました。挙句の果てに「社員は悪くございません」とテレビカメラの前で号泣して名を馳せた山一証券の自主廃業が強く印象に残った年でもあります。一方、明るいニュースとしては日本のサッカーがイランに勝ってワールドカップフランス大会に初めて出場を決めた「ジョホールバルの歓喜」で日本中が沸いたのもこの年です。

あれから16年いろいろなことがありました。

公益法人化に心血を注がれた初代の井上会長、バトンを受け継いで会員の意思を一つにまとめた二代目の田島会長、財務基盤の強化にご苦労された三代目の三上会長、そして四代目の竹

内の時に一般社団法人化への移行を迫られ、本年4月に新生全日本特殊鋼流通協会となりました。船長は替わり、時代の流れ、景気の変動に翻弄されることはあっても「全特協丸」は安全航行を続けねばなりません。予期せぬ氷山に遭遇したタイタニック号の悲劇は許されません。

また、内外で発生した地震災害に対する災害義捐金など社会貢献にも素早く対応して『すてい〜る』紙上でも詳しく報じられています。協会事業の根幹を成す各種研修事業についてもその成果を余すところなく伝えて参りましたが、今後は、新生全特協の羅針盤として更に紙面の充実を図り、会員の皆様のご要望にお応えして行きたいと考えております。「継続は力なり」とよく言われます。この50号をバネに次なる節目の100号を目指して会員の皆様のご支援を頂きながら頑張っていきたいと思っております。



「すてい〜る」創刊号

一般社団法人移行に伴う 「第1回定時総会」を開催



全特協では平成23年より、公益法人制度改革に基づく一般社団法人への移行準備を進めてきました。その結果、本年3月21付けで内閣総理大臣より移行認可を受け、4月1日より一般社団法人全日本特殊鋼流通協会としてスタートしています。

平成25年6月2日(日)、全特協では京都市のホテルグランヴィア京都において、一般社団法人への移行後初となる第1回定時総会を開催しました。冒頭に竹内誠二会長のあいさつ(次ページ)が行われた後の総会審議では、以下の各議案が原案通り満場一致で承認されました。

第1号議案 平成24年度事業報告書及びその付属明細書承認の件

第2号議案 平成24年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの付属明細書承認の件

第3号議案 理事の辞任を承認する件

第4号議案 平成25年度事業計画及び同年度収支予算報告の件

一般社団法人への移行に伴う制度変更として特に説明があったのは、第2号議案の平成24年度損益計算書の一般正味財産期末残高についてです。一般企業の内部留保にあたるこの残高は、新制度の下では公益的な事業にのみ活用しなければいけないという法的な制約があるため、今後、数年間をかけて

業界外への公益にも資する調査研究事業に活用することが承認されました。また、第4号議案では9月に行われるアメリカ・シカゴを中心とした海外視察研修や、10月の第2回理事会などの事業予定が報告されました。

議案審議終了後は、参加会員に参考となる情報提供ということで、夏季電力需給対策・省エネルギー対策、JIS規格の制定・改正、小規模企業活性化法案、税制改正などについて、配布資料を用いた説明と報告がなされました。



会長あいさつ

一般社団法人全日本特殊鋼流通協会 会長 竹内誠二

今は厳しい耐える時代だが半年後の需要好転に期待したい



本日は、生まれ変わった一般社団法人全日本特殊鋼流通協会の第1回の定時総会を開催しましたところ、会員、賛助会員の皆様には、全国から大勢ご出席賜り、誠にありがとうございます。また、日ごろは当協会の諸事業について、ご理解、ご支援、ご協力を賜り、高い位置からではございますが、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は超円高に見舞われ、またデフレ経済の浸透そして景気の減速と、大変厳しい経営環境の中の耐える一年でございました。今年はアベノミクスの効果か、円安、株高と景況感が出てきたような感じがいたしますが、実際はわれわれの実需では低位のままの状態です。過去の例をとっても、為替の変化で景気が回復するのは、だいたい一年と時間がかかります。ということは、今は大変厳しい耐える時代となっておりますが、いずれ半年後には徐々に良くなることを期待しております。

先日「のぼうの城」という映画を見る機会がございました。けっこう面白くて、原作も読ませていただきました。あらすじは、天下統一を目指す豊臣秀吉が北条氏の小田原城を攻めていました。今の埼玉県行田市にあった北条氏の城である忍城を、石田三成の2万人の大軍が攻めたのですが、それをわずかに500人で守った攻防の様を映画に

しております。その結果は、三成は2万の大軍で500名の城を落とせずに、その間に本城の小田原城が落城してしまいます。その忍城を守った城代が成田長親という武将だったのですが、彼は英知に長けた切れ者ではなく、また非常にリーダーシップの強いタイプでもなく、普段は昼行灯のようなボンヤリとした人物で、“でくの坊”を略して「のぼう様」と呼ばれていたそうです。

しかしながら、その性格から領民からは非常に慕われていたようで、現場重視のボトムアップの政策によって、部下の心をとりながらモチベーションを上げていく手法で城を守り抜きました。これは、いまの経営者にとって非常に参考になるのではないかと思います。

最後になりますが、定時総会をスムーズに進行していただけるよう皆様のご協力をお願いいたしまして、私の開催のあいさつとさせていただきます。



講演会 感じて・興味を持って・動く人づくり！ きばらんかい！ 経営者！ 大谷流元気術



大谷由里子氏プロフィール

1963年生まれ。京都ノートルダム女子大学卒業後、1985年に吉本興業に入社。横山やすしのマネジャーを務めたほか、宮川大介・花子、若井こすえ・みどりなどを売り出して注目を集める。91年に企画会社を設立し、販売促進やセールスプロモーションの企画・アドバイザーを行い、98年には「よしもとリーダーズカレッジ」を立ち上げ、講演・研修、地域活性化に貢献。2003年には研修会社の「志縁塾」を設立し、笑いを取り入れた人材育成法で年間300を超える講演・研修をプロデュースする。



総会終了後は、人材活性プロデューサーの大谷由里子氏による講演会「感じて・興味を持って・動く人づくり！きばらんかい！ 経営者！ 大谷流元気術」が開催されました。

吉本興業の敏腕マネジャー時代の故・横山やすし氏にまつわるエピソードの紹介からはじまった講演は、売れるニーズをつかむ、新しい感性をどのように磨いていくかなどを中心にすすめられていきました。

その中で大谷氏は、「タレントも売れたいと思った者しか絶対に売れない。企業の活性化も地域活性化も全部一緒。自分で自分の会社を元気にしたい、自分の地域を元気にしたいと思うことが、どんなに大切なことか。そのためには、どのようにしたらうまくいくか、どうしたら儲かるか、どうしたら人を巻き込めるのか。トコトン考えていかなければいけない」と力説。

その上で、「会社を好きになる、上司を好きになる、一緒に働く仲間を好きになる、自分が扱っている商品が好きになる」場づくりと雰囲気づくりが一番大事で、「いい空気の下にはいい発想が生まれて、よい成果が上がる」として、笑いをテーマにした大谷流の人材活性化術をアドバイス。1時間の講演は、終始笑いに包まれた活気に満ちた内容となりました。



懇親会

総会終了後の懇親会では、福原実晴・大阪支部長が「これまでに全特協は大きく3回姿を変えている。いわゆる販売組合から全国組織を立ち上げて、その後、井上豊治名誉会長を中心とする大阪の取り組みで法人化を実現させた。そして今、一般社団法人に生まれ変わった。その総会を大阪支部が担当させていただけるのは、当時の先輩方の熱い思いが届いたのかと感慨深い」とあいさつ。賛助会員を代表して登壇された立花一人・大同特殊鋼取締役大阪支店長は「業績回復の力強さには若干欠けているのが現状だが、メーカーおよび流通が役割をしっかりと分担しながらがんばりましょう」と乾杯のご発声をされた。

京舞の鑑賞も交えながら進んだ懇親会の中締めでは、富永真市・山陽特殊製鋼常務取締役東京支社長が「大阪弁の元気のよさと笑いの魅力、京の雅が同時に堪能できた総会だったのではないかな。笑う所には福来たる。もっと日本を元気に」と一本締めを行った。



バス見学会

京都市内の国宝・世界遺産を拝観

総会の翌日6月3日(月)には、有志によるバス見学会を開催。
世界文化遺産にも登録されている、古都京都の文化財の数々を見学しました。

■元離宮 二条城

江戸幕府が京都守護と将軍上洛の際の宿泊所として造営。桃山文化の全貌を見ることができる文化財として世界遺産にも登録されている二条城。武家風書院造の代表的な御殿建築として国宝にも指定されている二の丸御殿を中心に見学しました。



■天龍寺

京都五山の第一位として知られる天龍寺では、堂内の四方八方どこから眺めてもずっとにらまれているように見えることで有名な、法堂天井の「雲龍図」について特別講話を受けながら拝観。その後は、夢窓疎石作の名庭・曹源池庭園を眺めながら精進料理を堪能できることで有名な「飾月」で昼食会を行いました。



■平安神宮

本殿で玉串奉奠とともに参拝を行った後は、広さ合わせて約3万平方メートルの東・中・西・南の各神苑を散策しながら見学。各区分ごとに異なる情緒を醸し出す、明治時代の代表的庭園に触れたほか、普段は一般参観されていない貴賓館へも案内され、栖鳳池を中心としたスケールの大きな東神苑の景色を水上より堪能しました。



支部だより

支部総会開催

東京支部 開催日時：6月21日(金) 開催場所：東京銀行協会「銀行倶楽部」

出席者：74社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成24年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
監査報告
- ②平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

総会終了後の懇談会で湊義明支部長(野村鋼機・代表取締役社長)は「昨年は賛助会員との交流会のみで行った講演会ですが、今年は内外交流部会、経営効率化部会の2つの部会で、皆様のご興味ある題材を基に執行したい。また、ブロック会議は7月23日の城南・神奈川地区の合同開催を皮切りに、今年は年2回行う予定。意見交換の場として、ぜひ参加していただきたい」と呼びかけた。続いてあいさつに立った竹内会長は「昨年は、超円高とデフレ経済で非常に厳しい一年だった。今年は円安・株高ということで気分的には何となくよくなっているが、実経済はまだ動いていない。たしか、2007年ごろの円安でも経済効果はすぐには出ずに一年かかったの、あと半年たてば必ずよくなるのではないかと」今後に期待を寄せた。乾杯発声では三上顧問が「アベノミクスの効果も、夏の盛りを過ぎて少し暑さが和むころには、景気も回復してきたかなという状況になってくると思うが、秋口になって皆さんと元気にこういう席を迎えられるように」とあいさつ。和やかな雰囲気の中で行われた懇親会は、宮地人材育成部会長の景気の良い三本締めで中締めとなった。



大阪支部 開催日時：6月20日(木) 開催場所：ヒルトンホテル大阪

出席者：88社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成24年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

定時総会後の懇親会では、福原實晴支部長(南海鋼材・代表取締役社長)が「景気は回復基調にあると言われていますが、あまりまだ足音が聞こえてこない。我慢するときかと思っています。そんな中、最近身にしみる言葉があります。それは5年前に井上豊治会長に言われた「我々は業界に生かされている」という言葉です。当時は正直ピンとは来なかったのですが、リーマンショック以降のこの4年間、需要の波の上に浮かんでいる小舟のようだ。自分たちの努力や能力で需要の波までは変えられるわけではないと痛感しました。皆さんにも井上会長の言葉をちょっと心に持っていて、大阪支部の運営にご支援いただきたいと思います」とあいさつ。

続いて来賓を代表して、立花一人氏(大同特殊鋼・大阪支店長)が「メーカー、流通さんが餅屋さんでやるべきことをしっかりきっちりやる。個々の会社経営の根幹ですが、ひいては全特協大阪支部の発展につながると思います」とあいさつ。栄山博之氏(山陽特殊製鋼・取締役大阪支店長)による乾杯の発声で懇親会がスタートした。途中、齊賀芳光氏(扇鋼材・代表取締役社長)や樋口友夫氏(天彦産業・代表取締役)のユーモアあふれるスピーチを交えながら会は進み、小山東輔氏(小山鋼材・代表取締役)の中締めで散会となった。



名古屋支部 開催日時：6月19日(水) 開催場所：レセプションハウス名古屋通信会館

出席者：81社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成24年度事業報告書(案)・収支決算書(案)
- ②監査報告
- ③平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
- ④平成25年度役員及び運営委員承認の件

植巳芳支部長(辰巳屋興業・取締役社長)および林健三・全特協専務理事のあいさつ後、植支部長のもと各議案滞りなく進められ満場一致により決議された。

総会終了後、澤津橋聖司総務部会員(司鋼商会・代表取締役)の司会で交流会が開催された。

植支部長が「昨年もここで開催したが、台風で大雨。その台風がきっかけのような感じで昨年は、波乱万丈の商売であった。今年は、3本の矢が放たれ、我々業界の成果にはまだまだであるが、足元に少しずつ明るい兆しが見えてきた。」と乾杯の発声。宴たけなわの中、藤巻武利運営委員長(F&Cホールディングス・代表取締役社長)の一本締めで中締めとなった。



東北支部

開催日時：6月27日(木)

開催場所：松島「ホテル絶景の宿」

出席者：24社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成24年度事業報告書(案)・収支決算書(案) 監査報告
- ②平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

菊地一運営委員(菊池ハガネ・代表取締役専務)の開会の辞で始まり、森高臣支部長(関東鋼鉄・代表取締役)の「景気動向など厳しい時期ですが、みんなでがんばりましょう」とのあいさつに続き、林健三専務理事より、景気動向、税制、補助金等についての説明があり、議事に入った。議事進行は順調に進み、全議案が承認された。総会終了後には懇親会、翌日には懇親ゴルフコンペも行われた。



北関東支部

開催日時：6月9日(日)

開催場所：りんどう湖口イ্যালホテル

出席者：16社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成24年度事業報告書(案)・収支決算書(案) 監査報告
- ②平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

開会にあたり長谷川弘和支部長(長谷川ハガネ店・代表取締役社長)が「本日の総会は、全特協が社団法人から公益法人改革で一般社団法人に認可され、記念すべき第1回の総会です。これまでの社団法人よりも一般社団法人は縛りも緩やかになり、かえって活動もしやすくなると申します」とあいさつ。総会審議では各議案を全会一致で承認可決し、閉会にあたっては宮内保副支部長(小山鋼材・代表取締役社長)が「世の中はアベノミクスの影響で浮き沈みの激しい景況が続いているが、北関東の実体経済には反映されていない。中央の景気動向が反映されるのはワンポイントずれてくる。7～8月ごろより動きがあると期待したい。全特協も歴史を感じさせる団体となってきた。チームワークの輪を大切にがんばろう」とあいさつした。



静岡支部

開催日時：6月14日(金)

開催場所：静岡グランドホテル中島屋

出席者：17社(委任状含む)

次の議題を審議、承認した。

- ①平成24年度事業報告書(案)・収支決算書(案) 監査報告
- ②平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

原博康支部長(東京鋼機・代表取締役社長)議長で議事進行し、平成24年度事業報告・決算報告、平成25年度事業計画・予算の審議を行い、満場一致で承認された。

総会終了後、同所にて懇親会が開催された。原支部長のあいさつの後、全特協 林健三専務理事の音頭で乾杯し、和やかに懇談の宴が催された。



九州支部

開催日時：6月21日(金)

開催場所：ホテルセンターザ博多

出席者：15社

次の議題を審議、承認した。

- ①平成24年度事業報告書(案)・収支決算書(案) 監査報告
- ②平成25年度事業計画書(案)・収支予算書(案)

吉永博支部長(特殊鋼機・代表取締役)が議長で議事進行し、平成24年度活動報告・決算報告、平成25年度活動計画・予算の審議を行い、満場一致で承認された。

他に、九州支部の運営方法について議長から報告があり、来年度(平成26年度)からは、支部会員も含めて支部長をお願いしたい。事務局に関しては、支部長の会社で行うが各事業に関しては担当委員が行う旨報告があり承認された。その後、懇親会を行い大同特殊鋼福岡営業所・牧戸所長の乾杯挨拶で「九州支部を盛り上げて行きましょう」との、力強いお言葉を戴き盛会裏に終了いたしました。



青年部会「第1回定時総会」を開催



見学先の加冶金属工業で

樋田浩三 新部長 あいさつ



思えば青年部会は12年前の第1回総会より出席させていただき、今年、一般社団法人化による第1回目の総会で、歴代の偉大な先輩方の後を受けて部長に推挙されたことを光栄に思います。青年部会の魅力は、なんといっても全国からいろいろな方が集まられること。そして、工場見学や講演会、懇親会を通じて、親睦を深めながらビジネスへと役立つつながりを築いています。青年部会も12年経ち、新入会員を募っていかないと長続きしません。私も努力しますので、皆様からも新しい方へ入会をすすめてください。



新部長に樋田浩三氏を選出 「新規部会員を積極的に募っていききたい」

平成25年6月14日(金)、青年部会は宇都宮市の「ホテル丸治」で部会員19名の参加を得て、第1回定時総会を開催した。

総会に先立ち、航空機・宇宙分野の機械加工・表面処理・組み立てなどを行う加冶金属工業を見学した。同社は、防衛庁取引資格や日本では数少ないボーイング社の認定工場となるなど、高い技術と品質で評価されている企業。見学会では、機械加工・検査・3次元測定・一部の組み立てを行う南工場を視察し、最新航空機向けのアルミ材を利用した複雑な3次元加工を行う「極少量多品種生産」の工場を見学した。

見学会を終えて久木田至部会長は、「航空機関連は、私たちの業界でもエンジンシャフトやチタンの金型などを

手がけている。品質の保証を売る世界なので、ご苦労は想像以上だと思う。製造・生産の技術と合わせ、高い経営理念の素晴らしい会社を見学させていただいた」と述べた。

続いて、ホテル丸治に移動して行われた定時総会では、冒頭、久木田至部会長が、「なかなか、われわれの業界まで波及してこないアベノミクスだが、私たちの産業が関連する自動車あるいは建機・産機でも、投資が上向いていると聞く。建機はインドネシアを中心にだいぶ上がっているようで、設備投資が海外案件も含めてくると、われわれの仕事も少しはよくなるのかも。今年後半に期待したい」とあいさつした。

総会では「平成24年度事業報告および収支報告」「平成25年度事業計画(案)および収支予算」「運営委員の選任(案)」が審議・承認された。部会員の異動については、50歳到達者による退会3名とともに新規加入会員4名があり、青年部会会員数は55名となった。

【新規加入会員】

■大阪支部／山崎利樹(山崎鋼鐵・専務取締役)、古田幸久(堺鋼材・代表取締役)、吉田道弘(吉田興業・取締役)

■名古屋支部／田島寛将(テクノタジマ・取締役)

【運営委員の選任】

■退任／久木田至(櫻井鋼鐵・代表取締役社長)、近藤泰幸(近藤ハガネ商店・代表)

■新任／長谷川弘和(長谷川ハガネ店・代表取締役社長)、三上晃史(ノボル鋼鐵・常務取締役)、保田尚伸(保田特殊鋼・執行役員社長室長)、鷲野敦司(名古屋特殊鋼・経営企画室長)

引き続き、平成25年度運営委員による第1回運営委員会が開催され、新部長に名古屋支部の樋田浩三(三悦・代表取締役)を選出。10人目となる新副部長に大阪支部の岩井大昌(巴鋼鐵・専務取締役)を新任した。

「チャイルド・スポンサーシップ」で新しいチャイルドへの支援を行います



全特協では平成22年度より社会貢献活動の一環として、国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)の「チャイルド・スポンサーシップ」に参加することで、カンボジアに住む2名のチャイルドに一人あたり毎月4500円の支援金を送っています。今回、この支援チャイルドのうちの一人、ハス・ソフエアちゃんが支援終了を迎えました。そこで、新たなチャイルドとしてサム・スレイバちゃん(写真)への支援を開始することになりました。スレイバちゃんは2000年8月生まれの12歳。両親と3人の兄弟、1人の姉妹と暮らしています。小学校5年生で好きな遊びは工作などモノづくり。彼女が健やかに育つため、支援プログラム参加へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

「はがねの日」記念行事——「はがねの日」イベントレポート——

東京支部 4月11日(木) 第9回ボウリング大会 於：東京ドームボウリングセンター

参加者数：88名

[成績]2ゲームトータルピン数・4人1組
(女性はH.C.10ピン／1ゲーム)

[団体戦]

優勝 清水特殊鋼 1295ピン
準優勝 加藤鋼材 1178ピン
3位 エスメタル 1173ピン

[個人戦・男子]

優勝 平井 隆(エスメタル) 415ピン
準優勝 左京 勇二(佐藤鋼材) 335ピン
3位 竹中 清(清水特殊鋼) 324ピン

[個人戦・女子]

優勝 石野奈央子(清水特殊鋼) 393ピン
準優勝 飯田 恵理(野村鋼機) 315ピン
3位 堀米 美保(日立金属工具鋼) 315ピン

第9回となったボウリング大会は15社・22チームが参加。山田雅郎実行委員長、桐島文昭実行委員、五味潤努実行委員による始球式で開幕。熱戦の末、清水特殊鋼が優勝。ゲーム終了後は懇親会も行われ、会社の垣根を超えた交流が深められた。



大阪支部 4月27日(土) ファミリーコンサート「弦楽合奏」 於：大阪市中央公会堂

入場者：約750名

京都大学交響楽団OBを招き、3年連続でコンサートイベントを開催した。開演前、福原大阪支部長が「早いものでファミリーコンサートも3回目。第1回は震災直後のためサキタハヂメさんを招き、チャリティー公演として開催。第2回は大阪大学交響楽団の皆様へ、耳慣れたクラシックの楽曲を演奏していただきました。今回も京都大学交響楽団OBの皆さんが、スクリーンミュージックやアニメ主題曲も取り入れながら弦楽器の幻想的な音色を奏でていただきます。わずかの時間ですが、心と体のリフレッシュをしてください」とあいさつ。二部構成となったコンサートでは、演奏のほか弦楽合奏の楽器構成や、それぞれの役割などの説明もあり、音楽への理解と愛着を深められる演奏会となった。



名古屋支部 4月11日(木)ボウリング大会 於：星ヶ丘ボウル

参加者数：93名

[成績]2ゲームトータルピン数・4人1組
(女性はH.C.あり)

総合優勝 桜井興産 1219ピン
2位 川本鋼材 1029ピン
3位 愛鋼 944ピン

個人優勝

男性 川本鋼材 大橋 健太 515ピン
女性 桜井興産 西野 芳子 426ピン

【鋼に関するクイズ】

表彰は勝ち残った5チーム

・井上特殊鋼 ・孟鋼鉄 ・クマガイ特殊鋼
・愛知製鋼 ・平井(順不同)

当初予定を上回る申込みがあり、非常に賑やかな開催となった。

櫛支部長の始球式でゲーム開始、各チーム大きな歓声の中、腕前を披露。ゲーム終了後は、懇親会でまず喉を潤し、その後特殊鋼に関する三択クイズ大会で、さらに盛り上がり、記念すべき行事となりました。



北関東支部 4月20日(土)ボウリング大会 於：両毛ゴールドレーン

参加者数：74名

一昨年が60名、昨年が66名、今年が74名と年々参加人数も増え大会も盛り上がりを見せました。大会終了後、成績発表が行われ、成績は以下の通りとなりました。

[成績]2ゲームトータルピン数

優勝 蔵前産業 松下 信一(社長)
1G：140、2G：215、合計355

準優勝 小山鋼材 下野 悟
1G：161、2G：183、合計344

3位 カムス 神山 敏雄
1G：199、2G：139、合計338

H/G 蔵前産業 松下 信一(社長)スコア215



九州支部 4月14日(日) 清掃ボランティア活動 於：福岡タワー～福岡ヤフオクドーム

参加者数：101名

昨年に続き、九州ステンレス協会との共同開催という事で多数の参加を得て、ゴミ袋(大)25袋のゴミを集めた。家族連れで、特に小さなお子さんが熱心に集めていたのが印象的だった。

福岡市の清掃局にお願いしゴミの回収をして貰った後、福岡ヤフオクドームで野球の観戦を行い(ホークスVSマリナーズ)ホークスの大勝に、最後に花火を見て、大満足での帰宅となった。



平成24年度 「特殊鋼販売技士1級」資格認定式



さんが全員を代表して答辞を述べました。認定式終了後は祝賀懇談会も開催され、合格者をねぎらうとともに特殊鋼業界のさらなる発展を担う人材としてエールがおくられました。

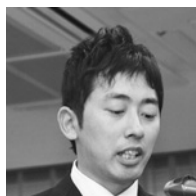
会長あいさつ



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会
会長 竹内誠二

当資格制度は、今から37年前に「責任と自覚と信用」の三本柱を理念に、業界の健全なる発展を目的としてスタートしました。本日の合格者148名を加えて、特殊鋼販売技士有資格者は1万5960名となり、それらの人は、われわれの業界はもちろん、日本の産業を支えてきたと言っても過言ではありません。皆様は、この資格取得が最終目的ではありません。むしろ、これからがスタートです。ユーザーの高度化するニーズに対応すべく、さらに研鑽されて、わが国の産業しいは国際貢献できるよう願っております。

答辞



資格取得者代表
大同特殊鋼(株) 小川智也

現在の特殊鋼業界を取り巻く環境は、個人消費と輸出産業等に景気持ち直しの動きがみられることから、数量の落ち込みは底を打ったどうかかかっております。しかしながら、近隣諸国との諸問題、欧州経済の不安定さ、電力料金の値上げ等、相変わらず当業界にとっても厳しい情勢が続いております。この激変の時代を勝ち抜くためには、お客様と情報交換を密にし、先んじてお客様のニーズにお応えできるよう、今回の講義で学んだ知識を礎に、より高い知識を身に付け、新しい商品をご提案できるよう励んでまいります。そして、お客様から信頼される営業マンを目指してまいります。

ご来賓祝辞



経済産業省製造産業局鉄鋼課長
山下隆一様

私たちは製鉄メーカーから加工・流通の方々まで、日本の鉄鋼と特殊鋼を支える多くの皆様と接点があります。以前、部品加工をしているある会社の購買担当の方とお話をしたことがあります。この資格を持たれている方々の名刺にこの資格名が書かれていると、非常に信頼感が高く安心できるということです。そのように、皆様方は37年間培われた信頼の上に、新しく次の信頼を作っていく立場になられるわけです。これから、まさにプロとして特殊鋼の世界を支える活躍をしていただければと思います。

祝賀懇談会あいさつ



人材育成委員会委員長
佐久間貞介副会長

山下鉄鋼課長のお話しにありました名刺の件にもあります通り、われわれの業界以外の方々にも当資格が認知され始めたのではないかと思います。これが出発点だというお話も出ましたが、1級が終わると勉強する機会もないというお話しもいただいております。フォローアップ研修なども制度として付け加えたいと思っております。なお、一層研鑽に励んでいただきたいと思っております。



東京支部・人材育成部会長
宮地時夫

かつては3級～1級と連続して受講することができましたが、昨年度から単一年度ひとつの級しか受けられないことになりました。また、試験の内容も難しくなりまして合格率は7割にまでなりました。合格者の方々は自信を持っていただいていると思います。おめでとうございます。

平成24年度「特殊鋼販売技士1級」合格者名簿

平成24年度 特殊鋼販売技士1級合格者数

支部名	受験者	合格者
東京	62	41
大阪	60	45
名古屋	55	36
北関東	21	15
静岡	13	11
合計	211	148

■成績優良者

〔東京支部〕	
川村 優樹	ウメトク(株)
小川 智也	大同特殊鋼(株)
〔大阪支部〕	
矢島 大輔	菱光特殊鋼(株)
〔名古屋支部〕	
上野 純資	ウメトク(株)
前田 哲	〃
山田 弘人	〃
浅井 孝文	(株)山一ハガネ
野田 宗裕	〃
福田 浩崇	日立金属(株)

平成24年度 特殊鋼販売技士1級 合格者名簿

東京支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

西川 尊康	愛知製鋼(株)
井口 英也	浅井産業(株)
川本 雅文	〃
伊藤 康徳	井上特殊鋼(株)
鈴木 大和	〃
宇根川勝彦	ウメトク(株)
川村 優樹	〃
廣田 享子	山陽特殊製鋼(株)
安藤 貴之	清水鋼鐵(株)
渡邊 健一	大洋商事(株)
池原 英佑	中川特殊鋼(株)
高田 明子	藤田商事(株)
中野 哲郎	〃
星 美知代	〃
高野 佑介	(株)マクスコーポレーション
大井 信	ヤマト特殊鋼(株)
山中 哲也	〃

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

北澤 倫也	青山特殊鋼(株)
福島 良太	〃
高橋 祐平	浅井産業(株)
本間登志道	ウメトク(株)
鶴田 一昭	住商スチール(株)
松井 春樹	大同興業(株)
山中正太郎	〃
岡田 大祐	大同DMソリューション(株)
酒井 周作	〃
松林 克明	大同特殊鋼(株)
池永 拓哉	日立金属(株)
澤田 文児	日立金属工具鋼(株)
藤岡 一成	〃

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

高味 武彦	愛知製鋼(株)
中島 岳人	(株)UEX
大山 司	ウメトク(株)
福岡 元彦	〃

荒川 達	下村特殊精工(株)
梅澤 嶺	大同興業(株)
大西真佐美	大同特殊鋼(株)
小川 智也	〃
熊谷 祐司	〃
河堀 晋太	〃
折原 光則	(株)マクスコーポレーション

大阪支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

新美 芳明	愛知製鋼(株)
高山 信行	〃
飯庭さおり	井上特殊鋼(株)
澤井希美代	〃
大西 良介	〃
高野 晃平	〃
高橋 秀併	〃
坂下 習子	カネヒラ鉄鋼(株)
上野 弘毅	〃
弓削 秀生	〃
村西 優太	〃
橋本 敬二	関西磨鋼材(株)
栗田 章	北島鋼材(株)
高岡 昌弘	〃
吉本 裕之	合同製鐵(株)
谷合 亮	〃
三宅 康司	櫻井鋼鐵(株)
安藤 哲広	山陽特殊製鋼(株)
鈴木 浩平	〃
刈谷 圭太	大同興業(株)
吉田 茂	大洋商事(株)
南 和範	〃
佐々木弘行	ニットク(株)
朝田 健一	〃
寺地 亮	林田特殊鋼材(株)
井田 浩一	阪和興業(株)
中谷 建太	(株)堀田ハガネ
重藤 仁志	(株)メタルワン特殊鋼
遠藤 賢治	陽鋼物産(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

田島 秀樹	伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
中野 敏和	ウメトク(株)
竹井 栄太	〃
石本 敬貴	〃
大田 隆之	扇鋼材(株)
瀬田 無限	加藤鋼材(株)
喜多 晃大	山陽特殊製鋼(株)
宮崎 良太	三和特殊鋼(株)
早松 正裕	大同DMソリューション(株)
中村 隆二	〃
木嶋 宏彰	日立金属(株)
矢島 大輔	菱光特殊鋼(株)

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

板垣 敬大	大同興業(株)
小川 真生	大同特殊鋼(株)
堀田 真喜	松井鋼材(株)
篠崎 一成	〃

名古屋支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

高橋 基浩	愛鋼(株)
平工 雄大	〃
池谷 剛	愛知製鋼(株)
今西 拓意	〃
大塚 章央	〃
宮崎 潤	〃
野瀬 友岐	浅井産業(株)
橋本 憲治	〃
黒岩 良崇	(株)岡谷特殊鋼センター
川本 哲也	川本鋼材(株)

加藤 友章	(株)交邦磨棒鋼センター
浜島 慎介	(資)近藤ハガネ商店
浪寄 大輔	鈴豊精鋼(株)
亀井信太郎	中川特殊鋼(株)
立木 篤識	富士機鋼(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

浦尾 勝治	浅井産業(株)
小林 祐士	〃
上野 純資	ウメトク(株)
前田 哲	〃
山田 弘人	〃
張 文	大同特殊鋼(株)
大塚 高洋	南海鋼材(株)
福田 浩崇	日立金属(株)
加藤 重行	ポラー・ウッドホルム(株)
浅井 孝文	(株)山一ハガネ
大塚 利博	〃
野田 宗裕	〃

Cグループ(ステンレス鋼・耐熱鋼)

勝野聡一郎	佐久間特殊鋼(株)
後藤 勇気	〃
佐久間崇透	〃
島 一平	〃
古川 さよ	〃
本持 直也	〃
福島 誠也	(株)大同キャスティングス
山下 耕平	大同興業(株)
柴 宏霞	(株)山一ハガネ

北関東支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

久保田一成	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
平山 僚一	井上特殊鋼(株)
土肥 謙一	〃
中村 英紀	興新特殊鋼(株)
飯塚 孝宏	(株)鐵鋼社
山田 歩	野村鋼機(株)

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

三宅 寛人	小山鋼材(株)
大塚 俊一	〃
長田 昌毅	金井特殊鋼材(株)
野部 大地	(株)カムス
茂木伸太郎	〃
飯田 直哉	大同DMソリューション(株)
中野容市郎	日立金属工具鋼(株)
平吹 卓也	〃
竹中 剛	〃

静岡支部

Aグループ(構造用鋼・ばね鋼)

松本 典馬	井上特殊鋼(株)
倉田 恵輔	佐久間特殊鋼(株)
武田 剛	ノボル鋼鉄(株)
田中雄太郎	〃

Bグループ(工具鋼・軸受鋼)

栗野 春彦	青山特殊鋼(株)
名取 智也	〃
福原 幸司	(株)サンコー
寺田 秀平	〃
原 惇	東泉鋼機(株)
小林 賢	ノボル鋼鉄(株)
山口 也倫	〃

[シリーズ連載]

いま世界へ！ 各社が取り組む海外展開事例

ここ数年来の円高の進行と自動車部品を中心としたメーカー各社の海外生産へのシフト。さらに、輸入鋼材の増加もあって構造用鋼などの国内需要が頭打ちになる中、総合商社だけにとどまらず、特殊鋼流通各社も規模の大小を問わず中国や東南アジア等へ拠点を構える動きが顕著になっている。生き残りをかけた需要開拓のため、海外進出は必要なのか。そのためには、どのようなマインドで臨まなければいけないのか。すでに海外展開を推し進める各社から、そのケーススタディを得てみたい。



代表取締役
佐久間貞介氏

企業ごとのバリューをどのように高めるか 目指すべき強さを判断してからでも遅くはない

第1回 佐久間特殊鋼株式会社

佐久間特殊鋼が海外進出の皮切りとしたのは、2003年のタイ・バンコクに設立した「サクマ・タイランド」。その後、中国・常州に「佐久間特殊鋼商貿常州」と、インドネシアに「PT・サクマ・インドネシア」をオープン。そして、2011年にはサクマ・タイランドを核に部品加工のパートナー会社と協業することで、精密冷間鍛造・研磨、切削加工、鍛造プレスなど、それぞれの特色にすみ分けをもたせた合弁会社3社を一挙に設立。タイでのサプライチェーンをより強化させている。

佐久間 当社がお付き合いさせていただいているお客様である自動車部品メーカーさんが、2000年ごろから積極的に海外展開へと舵を切られ始めました。材料や部品を扱わせていただいている当社として、今後どうすれば十分なユーザーサービスが提供できるかということ考えた結果、ユーザー立地という観点から海外法人の設立を決断した。決して“世界を股にかけてビジネス志向”というものではなく、お客様の動向に合わせた上で当社の価値をどのように高めていくかという選択肢の一つでした。

海外進出にあたっては、そのノウハウがまったくのゼロ。佐久間社長を含めて海外事例に通じた人材も乏しかったため、現地での実務を推進する担当の確保が急務となった。

佐久間 取りかかりは知人の、商社OB

を招聘してその仕事に当たりました。最初期のころの事務所選定などは、私も何度も現地へ足を運びました。他の、海外展開企業の担当者ともお話しする中で、やはり多く聞かれる苦労が人材活用の点。数千人規模の会社でも海外に振り向ける人材が不足しがちな中、われわれのような100名前後の会社では、海外展開に伴って、明らかに国内が手薄になることを覚悟しなければいけません。さらには、現地での人材教育。風土も気質も違う他国の人に、当社の理念を共有してもらうように教育することは並大抵のことではありません。国内拠点の開設、あるいは国内で関連会社を設立することも大変なことで、その何倍もの困難を伴うのが海外。その上で業績を上げなければいけないのですから「これなら国内でもっと工夫することはあるのではないか」という声がよく上がります。

近年、マスコミの論調でも「海外進出こそ時代を先取りした企業の姿」で、それに乗り遅れることへの危機感がある。この点では、少し違う考えを佐久間社長は持っている。

佐久間 100社の企業があれば100通りの考え方とやり方があるはずですが、お客様のニーズに則することはもちろんですが、自社の将来をどのように考え、いま置かれている環境や経営資源など多面的に考慮して、海外で苦労するのか国内で苦労するのかを選ぶべきです。国内の成長が止

まっているから海外なら何か良いことがあるという風には決して思えません。

事実、ここ数年で東南アジアでの日本資本の拠点展開も過当競争の感があると佐久間社長は指摘する。

佐久間 タイの工業団地も、今ではそれほど安く取得できるわけではありません。人件費についても、以前より優位性が失われ始めており、それならば国内の適地の方がよほど安く、今後TPPの動向いかんで関税フリーが実現すれば、九州地区での物づくりなどは大いに競争力を増すのではないのでしょうか。当社でも現地法人は現地の社会に貢献する企業として早く一本立ちし、いずれは経営者層も現地から出すべきだと考えます。現地法人との相乗効果を高めつつ、日本の佐久間特殊鋼も国内での価値をさらに高めながら持続するよう、国内投資を含めた創造性の追求は手を抜かず行っていくつもりです。安易なブームや不確かな情報に踊らされることなく、自社の目指すべき方向をしっかりと決め、企業としてどんな価値を磨くかを見極める。海外に出るか出ないかは、そこからの判断ではないでしょうか。



タイ現地法人 SAKUMA (THAILAND) CO., LTD.

理事会・委員会報告

■理事会

○第42回理事会

日時：平成25年3月26日 14:15～15:15 於：鉄鋼会館
内容：1号議案 平成25年度事業計画書(案)承認の件
2号議案 平成25年度収支予算書(案)承認の件
3号議案 一般社団法人移行に伴う規則類の改定承認の件
報告事項：①一般社団法人の設立について
②コバルト等の特定化学物質の指定について
③中小企業セーフティネットの指定業種について
④中小企業の海外展開の支援について
⑤委員会報告について
⑥事務局報告(次回理事会等の開催について)

○第1回理事会

日時：平成25年5月21日 15:30～16:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 議案
第1号議案 平成24年度事業報告書(案)承認の件
第2号議案 平成24年度収支決算書(案)承認の件
第3号議案 理事辞任の件
第4号議案 定例総会の招集及び決議事項について
2. 報告事項：委員会報告、会員の退会、夏季の省エネルギー対策等

■運営委員会

○第67回運営委員会

日時：平成25年3月26日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：第42回理事会・議案に同じ告

○第1回運営委員会

日時：平成25年5月21日 14:00～15:30 於：鉄鋼会館
内容：第1回理事会・議案に同じ

■総務委員会

○第48回総務委員会

日時：平成25年3月19日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成25年度事業計画書(案)及び同年度収支予算書(案)について
2. 一般社団法人移行に伴う規則類の改定について
3. 一般社団法人の登記について
4. 会員名簿の作成について
5. 事務局報告

○第1回総務委員会

日時：平成25年5月17日 12:00～14:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成24年度事業報告書(案)について
2. 平成24年度収支決算書(案)について
3. 第1回定時総会について
4. その他(理事の辞任等)

■人材育成委員会

○第1回人材育成委員会

日時：平成25年5月28日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 指導要領作成WG進捗状況報告について
2. 平成24年度販売技士「1級」検定試験結果報告について
3. 特殊鋼販売技士「入門編」3級「研修講座受講者数報告について
4. 研修講座講師のメーカーバランスの是正について
5. 平成24年度収支実績及び平成25年度事業計画・予算の報告について
6. 特殊鋼販売技士、販売加工技士の制度改革について

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○第15回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成25年3月19日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 第14回WGの議事録報告について
2. 2級研修講座の「指導要領」作成について
3. その他

○1級合否判定会議

日時：平成25年4月10日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士1級合否判定について
2. 講師講評について
3. 検定試験委員長講評について
4. 合否判定内容承認について
5. 1級研修講座制度改革(案)について

○3級講師事前打合せ

日時：平成25年4月18日 15:00～16:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 平成25年度人材育成事業年間予定等について
2. 平成25年度3級研修講座の講師事前打合せ
3. その他

○第16回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成25年5月16日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士2級指導要領作成について
2. 特殊鋼販売技士1級指導要領作成について
3. その他

○特殊鋼販売技士1級資格認定式

日時：平成25年5月21日 17:00～17:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 経済産業省製造産業局：山下鉄鋼課長御挨拶
2. 特殊鋼販売技士1級資格認定証授与

○3級問題選定会議

日時：平成25年6月5日 15:00～16:30 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士3級検定試験の試験問題概要について

○第17回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成25年6月20日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士2級指導要領作成について
2. 特殊鋼販売技士1級指導要領作成について
3. その他

○3級合否判定会議

日時：平成25年7月17日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
内容：1. 特殊鋼販売技士3級検定試験の合否判定について
2. 講師講評
3. 委員長総評

○第18回指導要領作成ワーキンググループ

日時：平成25年7月19日 14:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 特殊鋼販売技士2級指導要領作成について
2. 特殊鋼販売技士1級指導要領作成について

■調査研究委員会

○第50回調査研究委員会

日時：平成25年3月14日 12:00～14:30 於：大阪・鐵鋼会館
内容：1. 第64回(10-12月)景況アンケート調査報告
2. 第65回(1-3月)景況アンケートの設問について
3. 第11回経営環境に関するアンケートの調査結果報告について
4. 経営環境に関するアンケート10回の纏め報告について
5. 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について

○第1回調査研究委員会

日時：平成25年6月6日 15:00～17:00 於：安保ホール
内容：1. 第65回(1-3月)景況アンケート調査報告
2. 第66回(4-6月)景況アンケートの設問について
3. 平成24年度収支実績及び平成25年度予算の報告について

■広報委員会

○第1回広報委員会

日時：平成25年7月11日 15:00～17:00 於：大阪・鐵鋼会館
内容：1. 広報誌「すてい〜る50号」の記事校正確認等について
2. 広報誌「すてい〜る51号」の記事内容等について
3. 平成25年度事業計画及び予算について

■青年部会

○第1回正副部会長会議

日時：平成25年5月8日 15:30～17:00 於：名古屋・OKB Harmony Plaza 名駅
内容：1. 第1回定時総会の内容について
2. 青年部会の今後のスケジュールについて

○第1回定時総会及び講演会

日時：平成25年6月14日 16:00～17:00 於：宇都宮・ホテル丸治
内容：1. 議案
第1号議案 平成24年度事業報告及び収支報告承認の件
第2号議案 平成25年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
第3号議案 運営委員の選任(案)承認の件
第4号議案 顧問及び特別顧問(候補)承認の件

○第1回運営委員会

日時：第1回定時総会に同じ
内容：審議事項 部会長・副部会長選任について

○第2回正副部会長会議

日時：第1回定時総会に同じ
内容：第2回運営委員会の行事について

事務局だより

1 「一般社団法人」への移行のお知らせ

当協会は、平成25年4月1日をもちまして「一般社団法人」に移行いたしております。

昨年秋より、一般社団法人移行のための手続きを進めた結果、この3月21日付けで内閣総理大臣より移行のための認可をいただきました。そのため、4月より「一般社団法人 全日本特殊鋼流通協会」と名称を変更いたしました。新法人におきましては、従来行っている当協会の活動をますます充実していく所存です。

また、会員各位へのサービスも強化していきたいと思っております。

今後とも引き続き会員の皆様の御協力をお願い申し上げます。

2 経済産業省製造産業局鉄鋼課の人事異動

当協会の担当でありました石神邦子鉄鋼課課長補佐が、平成25年7月1日付で、原子力規制委員会にご転出となりました。

後任の流通加工・鉄鋼製品担当は、但馬敏郎鉄鋼課課長補佐がご担当されます。

石神課長補佐には平成23年5月より、当協会の運営等についてご指導をいただきました。

大変お世話になりありがとうございました。新天地でのご活躍を祈念しております。

3 「米国特殊鋼関連業界視察研修」参加20名を予定(内外交流委員会)

当協会の内外交流委員会では、今年度も海外視察研修として9月21日より6泊8日の日程で米国を訪問することになりました。

募集の結果、会員各社より19名の申込みがあり、事務局を含めて20名が参加致します。

4 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋を継続しております。是非ご利用下さい。お問い合わせは、事務局までお電話下さい。(Tel : 03-3669-5803)

編集後記

会員・賛助会員の皆様方！ 年々暑くなる日本の夏にお見舞い申し上げます。

日本中で8月の平均気温が一番高いのは大阪だそうです。その気温はシンガポールの平均気温と同じだそうです。大阪の皆様！ 重ねて暑中お見舞い申し上げます。

ところで、今号は「すてい〜る」発刊50号の記念誌となりますので、竹内会長より「全特協への想い」をご寄稿いただきました。また、今号の特集は新法人として第一回目

の全国総会、各地区での支部総会の模様をお伝えしています。さらに、新企画として会員会社の海外展開シリーズの第一目を掲載しています。

景気の方はまだまだ熱くなりませんが、ねじれ国会が解消されたアベノミクス効果に期待し、秋の需要増を楽しみに暑さを乗りきりましょう。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／福原實晴